

海外情報



■米国

紙おむつの評価を発表

米国の消費者保護出版物、コンシューマー・レポート誌によれば、消費者はブランドの紙おむつを買わずにプライベートレーベルの紙おむつを購入することで、年間200ドル程度節約できるといふ。

紙おむつは漏れを防ぎ、乳幼児の肌をドライに保つなど、その性能は予想以上に改善されている。高級ブランド紙おむつはコンシューマー・レポート誌の行ったすべてのテストで最良の結果を出した。

しかも、もっとも性能の劣っていた紙おむつでさえ、わずか2.4%の漏れを示しただけで、肌が湿ったと感じたものは3.5%に留まった。

同誌は、まずストアブランドで性能の高い製品を最初に試してみることを薦めている。プライベートレーベルの紙おむつは1個あたり20セントであるのに対し、高級ブランドの製品は30セントであった。

同誌はトレーニングパンツについては、紙おむつは安い製品でも十分に機能を果たしていると結論づけた。また、トレーニングパンツは肌をドライに保ちすぎると、幼児がトイレに行かなくなるので、使用しない方が賢明だと

している。

同誌は漏れ防止、ドライ感、フィット・締め付け感の項目に分けて、ブランド製品にランク付けを行った。

1位はプロクター&ギャンブル社のパンパース・カスタム・フィット・クルーザーズ、2位はキンバリー・クラーク社のハギーズ・サブリームであったと発表している。

■N・Rスパンテック・インダストリーズ社 (米国)

スパンレースライン新設を計画

イスラエルのスパンレースメーカー、N・Rスパンテック・インダストリーズ社は、米国でスパンレースラインの新設を計画していると発表した。計画の詳細は4月にフロリダで行われたIDEAトレードショー&コンファレンスで発表した。

同社は2003年1月、米国工場の新設計画を発表したが、それ以後、計画を延期していた。スパンテック社は、4月にコネチカット州に米国子会社スパンテック・インダストリーズ社を設立。

同社は現在、米国での工場拡張を発表したスパンレースメーカー4社の中で、最初に計画を実行する企業となる見込み。

米国では、グリーン・ベイ・ノンウヴンズ社が水流絡合ラインの増設を発表しているが、この計画は実施されていない。また、イタリアのオーランディ社やフランスのヤコブ・ホーム・インダストリーズ社がアメリカでの事業を模索中である。

さらに、02年4月にはBBAファイバークラウド社がスパンレースラインの増設を明らかにした。

■ハイジニテック社 (米国)

ワイパー第4加工ラインを増設

ワイパー加工メーカー、ハイジニテック社は、500万ドルを投じ、ほぼ倍の広さに拡張した工場に第4ラインを

新設する。

同社は、ネバダ州で開催されたビジョン2004コンシューマー・プロダクト・コンファレンスの席上で、5月をメドに2,700㎡拡張し、ペーパー・コンバーティング・マシーン(PCMC)社製クリッパー・ラインを新設すると発表した。

新ラインは4台目のPCMC社製ラインで巻き戻し、湿潤、折りたたみ、リボンフォーム、断裁を行い、毎分300個まで加工することができる。包装個数は10から120シートの範囲。

同社は生産設備の拡張に伴い、従業員を04年末までに53人から100人に増員し、4月までに週7日稼働態勢をとる計画である。

一方、同社は8月から3万6,000平方フィートのグリーンベイ工場での生産を開始した。同社は米国食品医薬品局(FDA)、環境保護局認可の製造ライセンスを保有しており、ワイパー加工だけでなく、ブランド/プライベートレーベル顧客向けのプラスチック包装箱の製造も行っている。

■キンバリー・クラーク社 (米国)

10年間に2~3億ドルで工場拡張

キンバリー・クラーク(K-C)社は、今後10年間で2~3億ドルを投じ、サウスカロライナ州の紙おむつ、ティッシュ、ウェット・ワイパー工場を拡張する。

同社は現在、工場拡張に備えて、固定資産税の減税を求め、エーケン郡と交渉中である。要請を受けた同郡は、新プロジェクトの年間資産評価額比率を10.5%から4%に引き下げ、ドル当たりミル数(課税率)を194.9ミル(1ミル=1/1000ドル)で固定することを決定した。

計画通り工場が拡張されると、従業員数は1,000名強から1,200名強に増員される。K-C社は、すでに同工場に5,000万ドルの資本投下を行っているが、従

業員の高度な技術・生産性・貢献度、エーケン郡全体の良好な事業環境を考慮し、新たな拡張計画の実施を決めた。

なお、エーケン郡によれば、同社は96年の工場拡張工事に2,300万ドル以上を投資し、150名を新規雇用している。

■オランダ社（米国）

米国にスパンレース工場建設

イタリアのスパンレースメーカー、オランダ社は、米国に新工場を建設し、3.2m幅のスパンレースラインを新設すると発表した。

詳細は不明だが、新工場は05年夏に開始する予定。また、水流絡合ラインメーカー、フレッスナー社とリエタ・パーフォジェット社によれば、未だにオランダ社からの発注はないとしている。

これによりオランダ社は、米国でのスパンレースラインの建設を決めた2社目の海外水流絡合不織布メーカーとなる。04年2月、イスラエルのN・R スパンテック・インダストリーズ社は、1年前から米国子会社の設立を決めていたことを明らかにしている。同社は事業資金調達のため、株式を売却する計画である。

また、フランスのヤコブ・ホルム社も米国にスパンレースラインを新設する計画だが、まだ実施の決定には至っていない。さらに、グリーン・ベイ・ノンウーヴンズ社は02年に第2スパンレースラインの新設計画を発表したが、未だに新設されていない。

6月にオランダ社は海外の新工場に第5水流絡合ラインを新設する。同ラインは04年夏稼働開始予定である。

■BP社（米国）

ニーパン含む織物・繊維部門売却

英国の石油製品大手BP社は、3年前に断念した織物・繊維部門の売却に向けて再び動き出す。同社織物・繊維部門は、織物・不織布製第1/第2ポリプロピ

レン・カーペット・バックング、家具・ベッド用ポリプロピレン不織布、織物・不織布製ジオテキスタイルの大手メーカー。

同部門は03年収益が5億ドルを超え、世界中で4,000人以上の従業員を雇用している。9工場のうち、ジョージア州とサウスカロライナ州の2工場はニードルパンチ不織布を生産している。

ジオテキスタイル製品は事業の不織布製品ラインの売上を牽引している。同社では不織布の資産については明らかにしていないが、同部門は15のニードルパンチラインを所有し、年間生産能力は1万6,000tである。

今回の織物・繊維事業の売却は石油化学事業のための2大戦略の一環。また、同社はリニア・アルファ・オレフィン、ポリ・アルファ・オレフィンの特殊事業の売却も検討している。

■ファイバーマーク社（米国）

米国事業の破産保護申請

フィルターメディア・特殊紙生産メーカー、ファイバーマーク社は、年間損失の倍増と長期債務の増加により、米国事業の破産保護を申請した。

同社はバーモント州破産審査裁判所に連邦破産法の適用を申請し、事業を継続するために3,000万ドルの融資をバーモント州のGEコマースシャル・ファイナンスに求めた。同社は、低迷する経済と主要市場の長期にわたる不景気により、好調だったドイツと英国の事業に悪影響が及んだとしている。

ファイバーマーク社は、03年第4四半期に230万ドルの純損失を計上し、純売上高は前年同期比で9,730万ドルから9,490万ドルに減少していた。通貨の影響を除外した米国とドイツの事業の売上はそれぞれ10.0%減、11.5%減であった。03年の同社損失額は1億1,920万ドルを計上し、前年の損失5,400万ドルから倍増した。

一方、売上は3億9,720万ドルから3億9,740万ドルと若干増加したが、03年のドイツの売上はほぼ横ばいで、米国の売上は12.2%低下した。同社の03年の長期債務額は4億290万ドルであった。

■ヤコブ・ホルム・インダストリーズ社（米国）

米国に水流絡合ラインを建設

欧州のヤコブ・ホルム・インダストリーズ社は、米国に水流絡合ラインを建設すると発表した。新ラインは4.5m幅で、年間生産能力は約1万5,000t。設備建設は05年夏に完了の予定。

高度な均質性、優れたエンボス加工技術、多種原材料への対応性、処理後オプションの多様性といった製品特性を売りに、米国市場に進出する。

新設備は、革新的でコスト効率に優れたスパンレース製品を求める北米市場の需要に応え、配送時間を縮小し、広範な製品開発能力を持つ同社へのアクセスを容易にするのが目的。

新ラインはヤコブ社にとって北米初のラインとなり、世界全体では4機目となる。同社はフランスで2ライン、ドイツで1ラインを操業し、ここ数年間米国市場へスパンレースを輸出していた。

なお、同社はデンマークのヤコブ・ホルム&ソナー・グループが所有し、不織布部門の従業員数は252名。03年の売上は8,000万ユーロ。

■ポリマー・グループ（米国）

4億7,500万ドルの債務借り換え

ポリマー・グループは、4億7,500万ドルの債務借り換えの契約を受け、貸付期間の延長とコスト削減を行う。この借換えにより、同社は、年間2,000万ドルを超える利子の支払削減を達成し、年間割賦金支払い額も3,000万ドルから300万ドルに激減する。

この取引で、主要投資会社、マトリンパターソン社は4,100万ドルの劣後株を

優先株に転換する。

同社によれば、これは03年に開始した安定化プロセスの重要な最終段階であり、この取引が完了すると、今後、同社は将来の成長に向けて注力できる。

この借換えで、同社は09年満期5,000万ドルのリヴォルヴィング貸付枠、10年満期3億ドルの優先ローン、11年満期1億2,500万ドルの劣後ローンを利用できる。

スタンダード&プアーズ(S&P)社の分析によれば、これらの融資は、06年12月満期の銀行融資の未払分返済にあてられる。S&P社はポリマー・グループにB+の信用格付けを付与し、見通しは安定していると評価している。

■サウラー社(スイス)

デンマーク社を買収

スイスのテキスタイル機器メーカー、サウラー社はデンマークのエアレイド設備メーカー、M&Jファイバートック社の買収を発表した。

サウラー社のドイツ子会社ノイマグ社によれば、エアレイドは各種製品の組合せ販売により復調のきざしが見込まれる、非常に先行きの明るい分野であり、同社スパンボンドと組合せることで、製品ライン、サービスの拡充が可能としている。

ノイマグ社は、02年米国のスパンボンド設備メーカー、エーソン・エンジニアリング社を買収しており、2種類以上の技術を一度に提供できるサプライヤーに期待が集まっている。

自ら紡績、加工糸、撚糸、刺繍機器の世界大手メーカーと位置付けているサウラー社は、M&J社の買収を4~5ヵ月以内に完了する予定である。

M&J社はバイコンポーネント・エアレイドにスパンボンドを組み合わせたマルチボンド・ラインを販売し、ナプキン吸収体生産ラインを4ライン納入の実績がある。

■コグネックス

In-Sightビジョンセンサで新製品

コグネックスは、In-Sight 5100およびIn-Sight 5400ビジョンセンサの2つの新モデルを投入してIn-Sightビジョンセンサファミリーを拡張する。

価格で競合する他社製品の4倍の処理能力と堅牢な工業設計を備えたこれらの新製品で、マシンビジョンの新しい業界標準の確立をめざす。

いずれのモデルもIEC対衝撃/振動規格に準拠し、防塵防水保護等級IP67(NEMA 6)規格をクリアしている。



問合せ先

コグネックス(株) 東京本社

〒113-6591 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート 23階

TEL 03-5977-5400 FAX 03-5977-5401

■セリ・ノンウーヴンズ社(イタリア)

エアレイド機器事業を開始

イタリアのワインダー・スリッター設備メーカー、セリ・ノンウーヴンズ社は、エアレイド機器事業に乗り出す。同社はエアレイドの複合素材を生産する「ウイングフォーマー」ラインの開発を近々発表する計画である。

同社によれば、エアレイド単独ラインの実用性には限界があるが、他技術との組合せにより新たな実用性が獲得できるという。

ウイングフォーマーラインは、安価で吸収性のあるフラッフ・パルプをスパンボンドやスパンレースのワイパー、サンタリー製品の吸収体に統合できる設計となっている。

セリ社はエアレイドラインの製造は初めてであるが、第二次世界大戦以降、製紙機械一筋の機械メーカー。同社は、新ラインの開発を3年前から開始し、パイロットラインをリエタ・パーフォジェット・テクニカルセンターに設置した。

新ラインに加えて、同社は第4四半期に不織布の顧客に向けて、より高速のスリッター・リワインダーを発表する計画である。新マシンの運転速度は毎分1,500mから2,000mに、サイクルタイ

ムは80秒から40秒に向上している。

■スヴェンスカ・セルローサ・アクティブエボラゲット社(マレーシア)

ドライパーズ・アジア社を買収

スウェーデンの世界的サンタリーメーカー、スヴェンスカ・セルローサ・アクティブエボラゲット(SCA)社は、マレーシアのベビー用・大人用紙おむつメーカー、ドライパーズ・アジア社を8,700万ドルで買収したことを発表した。

ドライパーズ社は、マレーシアの最大手紙おむつメーカーで、マレーシアで27%、シンガポールで32%の市場シェアを有し、タイやフィリピンでも製品を販売している。

ドライパーズ社の03年度売上は7,500万ドルで、フィリピンのフィリピンズ・スター紙によれば、今年の収益は9,000万ドルに上ると予想されていた。従業員数は580名、紙おむつ生産能力は年間8億個である。

SCA社は、フィリピンで大人用紙おむつの生産統合を行っているが、今回の買収により、フィリピンの女性用製品市場に参入したい考え。ドライパーズ社の収益を含めると、同社のオーストラリア・アジアでの売上高は2億7,100万ドルになると予想される。